

Panasonic

BUSINESS

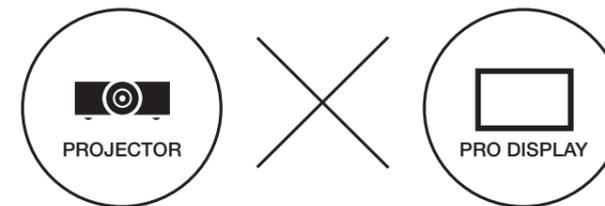


OFFICIAL WORLDWIDE PARTNER

TM IOC.

Panasonic

BUSINESS



パナソニックは、さまざまな用途やシーンにて映像ソリューションをご提供するため
業務用プロジェクター、業務用ディスプレイを豊富にラインアップしています。



業務用プロジェクター

<http://panasonic.biz/projector/>

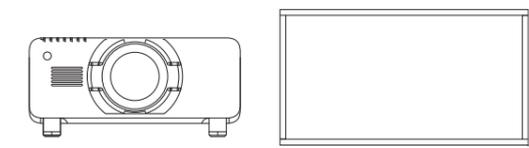
業務用ディスプレイ [まかせなサイト]

<http://panasonic.biz/prodisplays/>



CELEBRATING THE SPIRIT OF RIO 2016

リオオリンピック・パラリンピック 納入事例集



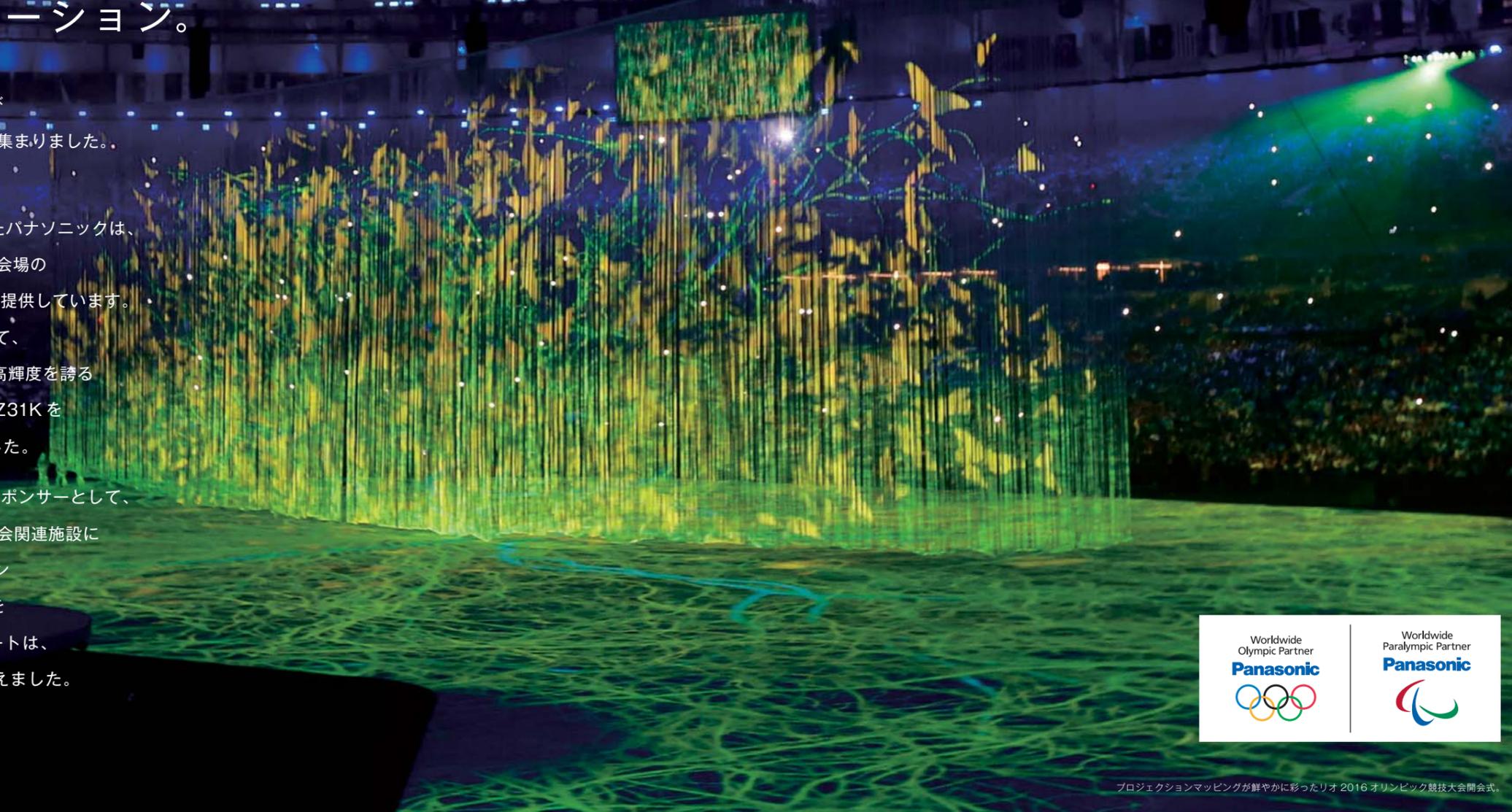
オリンピックやパラリンピックで生まれた感動の数々を、世界中の人々のもとへ届ける パナソニックのトータルソリューション。

南米初開催となるリオ 2016 オリンピック競技大会(8月5日～21日)および
リオ 2016 パラリンピック競技大会(9月7日～18日)には、世界中の注目が集まりました。
プレッシャーと緊張感が高まる中、開閉会式がスムーズにとり行われました。

1988年のカルガリー冬季大会以来、25年以上にわたり大会運営を支えてきたパナソニックは、
今大会でも機器提供だけでなくビジュアルシステムデザイン・システム設置や会場の
オペレーション・メンテナンスなどを含めた映像のトータルソリューションを提供しています。

開閉会式では、100台を超える最先端のPT-DZ21K2プロジェクターを用いて、
鮮明な色と生き生きとした迫力のある映像投写を実現。今回は30,000lmの高輝度を誇る
新製品の3チップDLP®方式SOLID SHINEレーザープロジェクターPT-RZ31Kを
初めて使用し、高画質のWUXGA解像度の映像投写でセレモニーを彩りました。

オリンピックとパラリンピックそれぞれのワールドワイドパートナーおよびスポンサーとして、
パナソニックは「Sharing the Passion」のスローガンのもと、競技会場と大会関連施設に
数多くの業務用プロジェクターや業務用ディスプレイを納入。企業パビリオン
「Stadium of Wonders」の4Kシアターでは、PT-RQ13Kプロジェクターを
用いて高精細で迫力ある4K+映像を投写。パナソニックの製品と技術サポートは、
国境を超えたチームワークを後押しし、さまざまな熱戦の舞台を裏側から支えました。



プロジェクションマッピングが鮮やかに彩ったリオ 2016 オリンピック競技大会開会式。

【インタビュー】



リオ 2016 オリンピックの開会式を成功させるために。 大会組織委員会 / 制作スタッフが語る「もうひとつの戦い」

世界中が注目するリオ 2016 オリンピックの開会式。今大会、パナソニックは
オリンピック史上、過去最大級となる台数のプロジェクターを提供し、セレモニーで使われる映像機器の
納入や設置、運営一切をサポートしました。1センチ単位の投写を可能にするプロジェクターの調整。
バックアップ映像への切り替え時に起こりうるトラブルへの万全の対策。
舞台裏では、感動を世界に届けるための「もうひとつの戦い」が繰り広げられました。

「リオのセレモニーでは、ブラジルの経済的状況から、我々の望むような大きな予算はつきませんでした。
そこで、我々は大規模なプロジェクトで勝負しようと決めました。だから、パナソニックがパートナーとして
最高のプロジェクターシステムを提供してくれることは、とても心強いことでした。」

Marco Balich 氏 (Cerimônias Cariocas 2016 エグゼクティブ・プロデューサー)

「パナソニックのシステムとトータルサポートのおかげでクリエイティブな仕事に専念できました。」
Fabião Soares 氏 (Cerimônias Cariocas 2016 プロジェクト・コンテント・ディレクター)

「1秒、2秒、3秒。スタジアムではわずかに数秒画面が途切れただけで、とても長い時間を感じられます。
数十億の人がライブで見るのですから、失敗はできません。ハリの我々の施設でテストしたのですが、実に驚きました。
いつ切り替えたのか全然わからなかったのです。」

Patrice Bouquenaux 氏 (Cerimônias Cariocas 2016 プロジェクション・テクニカルデザイナー)

「我々はブラジル人のパッション(情熱)とクリエイティビティ(創造力)を伝える開会式にしたいと思っていました。
それには海や山、人々などの映像をたくさん使わなければなりません。
そこで我々はパナソニックのプロジェクションシステムを使いました。素晴らしいシステムでした。
おかげで、我々が表現したかった雰囲気をすべて作り出すことができました。」
Sidney Levy 氏 (リオ 2016 オリンピック大会組織委員会 最高経営責任者 (CEO))

ダイナミックな映像世界を展開し、世界中から高い評価を受けたりオ 2016 オリンピックの開会式。
パナソニックは大会組織委員会や制作チームと協働し、高精度のシステムと技術サポートで開会式の成功を支えました。

セレモニーを彩る プロジェクションマッピング CEREMONY PROJECTION MAPPING

オリンピック/パラリンピック マラカナンスタジアム(リオデジャネイロ)

輝度 30,000 lm の SOLID SHINE レーザープロジェクターによる プロジェクションマッピング

リオ 2016 のセレモニーでは約 110 台の PT-DZ21K2 プロジェクターを駆使した大規模なプロジェクションマッピングが実現。ブラジルの文化と伝統が鮮やかに表現され観客を魅了しました。開会式には、新製品の輝度 30,000 lm の SOLID SHINE レーザープロジェクター PT-RZ31K(プロトタイプ)も使用され、華やかな式典をサポートしました。

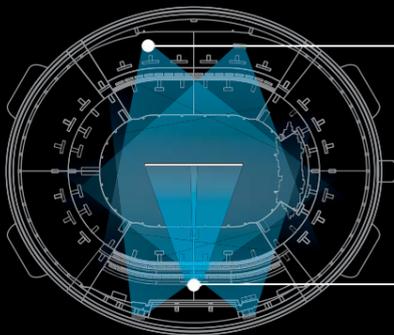
- PT-DZ21K2 3チップDLP®方式プロジェクター
- PT-RZ31K SOLID SHINE レーザープロジェクター(プロトタイプ)

すぐれた性能と機能力で、式典を演出。

- 輝度 20,000 lm の PT-DZ21K2 は高解像度 WUXGA にリアル対応。
- 高信頼性を誇る PT-DZ21K2 の 4 灯光学システム。優れたメンテナンス性によりランニングコストも低減。
- 吊り下げ設置にも対応した超小型で軽量化したコンパクトボディを誇る PT-DZ21K2 と PT-RZ31K。
- PT-DZ21K2 はポートレートモード機能を搭載。PT-RZ31K は水平・垂直とも 360 度いずれの角度にも設置可能。
- PT-DZ21K2 はバックアップ入力機能を搭載。主映像信号が途切れてもバックアップ入力信号により、瞬時に映像を表示。
- 両モデルとも 3 チップ DLP® 方式により鮮やかな発色、高解像度、高精細な投写を実現。



プロジェクションレイアウトイメージ [マラカナンスタジアム]



4 方向からの投写により、リアルで迫力のある映像表現を実現。



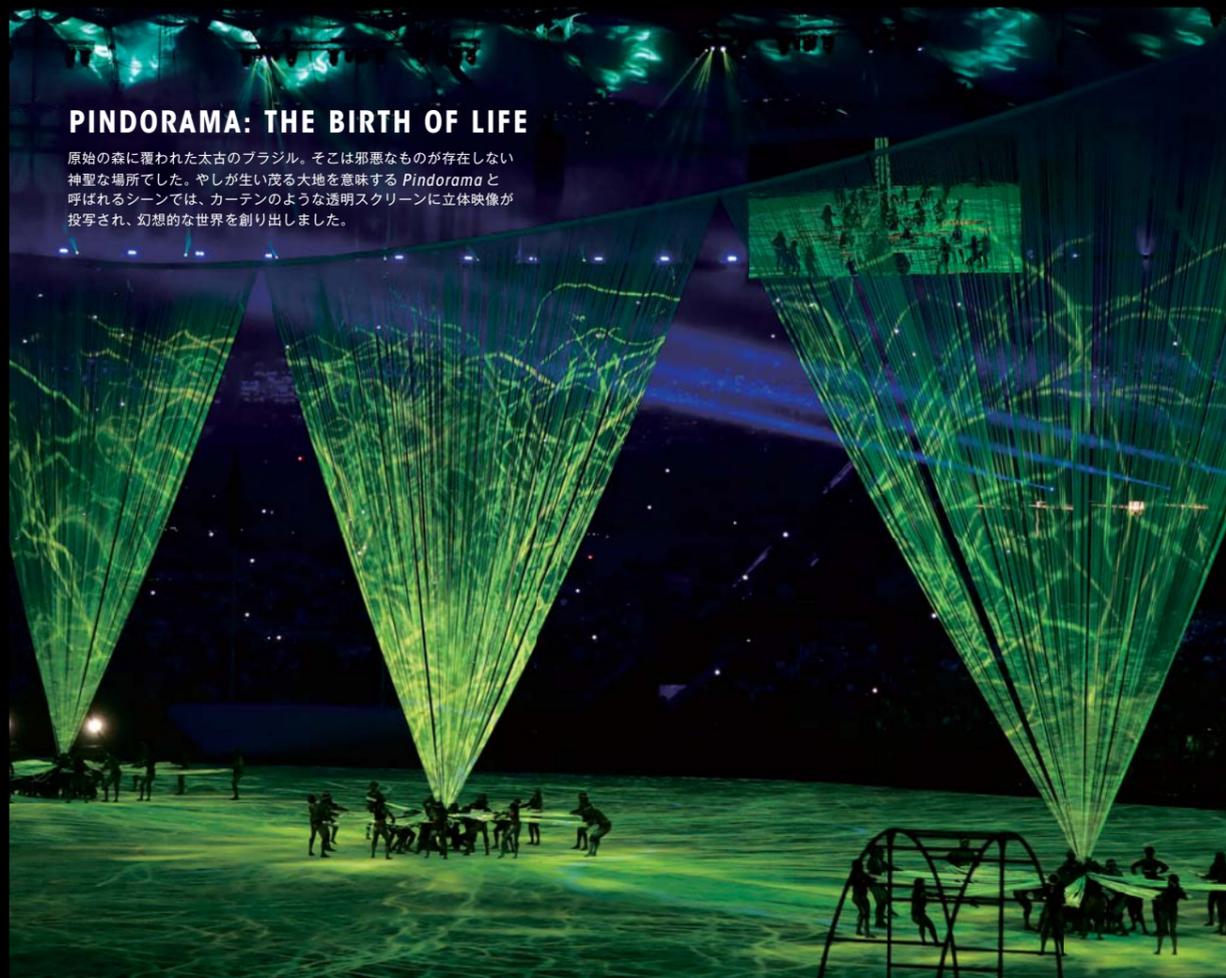
リオ 2016 オリンピックの開会式で大活躍したパナソニックプロジェクターのフラッグシップモデル。



PT-RZ31K SOLID SHINE レーザープロジェクター(プロトタイプ)



1 チップ DLP® 方式 SOLID SHINE レーザープロジェクター PT-RZ475 を用いたリアル風景、プロジェクション・デザイナーが創り出す映像をスタジアムの模型へ繰り返し投写。



PINDORAMA: THE BIRTH OF LIFE

原始の森に覆われた太古のブラジル。そこは邪悪なものがない神聖な場所でした。やしが生い茂る大地を意味する *Pindorama* と呼ばれるシーンでは、カーテンのような透明スクリーンに立体映像が投写され、幻想的な世界を創り出しました。



METROPOLIS: THE CITY RISES

プロジェクションマッピングで映されたビルの上を見事に瞬間移動するバククール集団のパフォーマンス。パナソニックと制作チームとのコラボレーションにより、立体的な空間演出が見事に実現しました。

オリンピック開会式 OLYMPIC GAMES OPENING CEREMONY

より美しくクリエイティブに。人々を魅了したパナソニックの映像演出。

限られた予算の中で、何も無いところから創意工夫をするというブラジルの *gambiarra* 精神を体現したりオ 2016 の開会式。パナソニックのプロジェクションマッピング技術は、イマジネーションあふれるユニバーサルな演出の一翼を担いました。大掛かりな舞台装置を作ることができなかった今回の式典で、パナソニックは大会組織委員会や制作チームと協力し、プロジェクションマッピングの可能性を最大限に発揮。クリエイティブで迫力ある映像演出を実現し、開会式は世界から称賛を浴びました。





LACE MAKING

伝統工芸のレース編み (bilro) をテーマにしたシーンでは、繊細な幾何学模様を色鮮やかにフロア全体へと展開されました。



オリンピック閉会式 OLYMPIC GAMES CLOSING CEREMONY

めくるめく多面的な映像が、観客の目を釘付けに。

カーニバル調の演出がなされたオリンピックの閉会式。プロジェクションマッピングとインスタレーションやダンスパフォーマンスを融合し、音楽や花火も用いた未来的な演出が幻想的な世界を作り出しました。オリンピック精神とブラジル文化を讀えたセレモニーは、人々の心に残る素晴らしいエンディングとなりました。

Panasonic



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES

Worldwide Partner

東京大会の成功に向けて。
パナソニックの決意も新たに。

オリンピック閉会式での2020年東京大会へのハンドオーバー(引き継ぎ)では、ライブパフォーマンスや映像プレゼンテーションが展開されました。次回のオリンピックでも、パナソニックはワールドワイド公式パートナーとして大会の運営をサポートします。リオ2016において、機器納入だけでなくシステム設計や映像のトータルソリューションを提供したように、東京大会の成功に向けて新製品の開発や準備に取り組んでまいります。



調和のとれた映像世界をパナソニックプロジェクターが演出。



パラリンピック開会式 PARALYMPIC GAMES OPENING CEREMONY

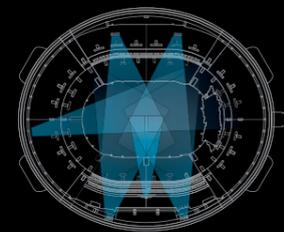
パナソニックの映像技術で、世界の人々にメッセージを

パナソニックは、リオパラリンピックの公式ワールドワイドパートナーとして、開会式をサポート。開会式のコンセプトである「Everyone Has a Heart (誰もが持つ心の強さ)」を、約100台の4灯式光学システム搭載のPT-DZ21K2プロジェクターで表現しました。幾何学模様と光が織りなすさまざまなシーンを、色とりどりのプロジェクションマッピングで展開。パナソニックは、500人のダンサーとともに、人間の多様性と強靱な意志を讀え、開会式の成功を支えました。

プロジェクションレイアウトイメージ
[マラカナンスタジアム]



TM IOC.



[パラリンピック開会式]

公式開会式パートナーのパナソニックは100台を超えるプロジェクターでパラリンピック開会式の演出をサポート。



車いすの車輪をモチーフにした「サンバサークル」のパフォーマンス。

CARIOCA NATION: SUNSET

夕日鑑賞は1950年代に始まったリオの伝統的習慣です。輝度20,000lmのプロジェクターがリオの地平線に沈む太陽を観客席に投写。観客と選手に一体感をもたらす印象的な場面が展開されました。



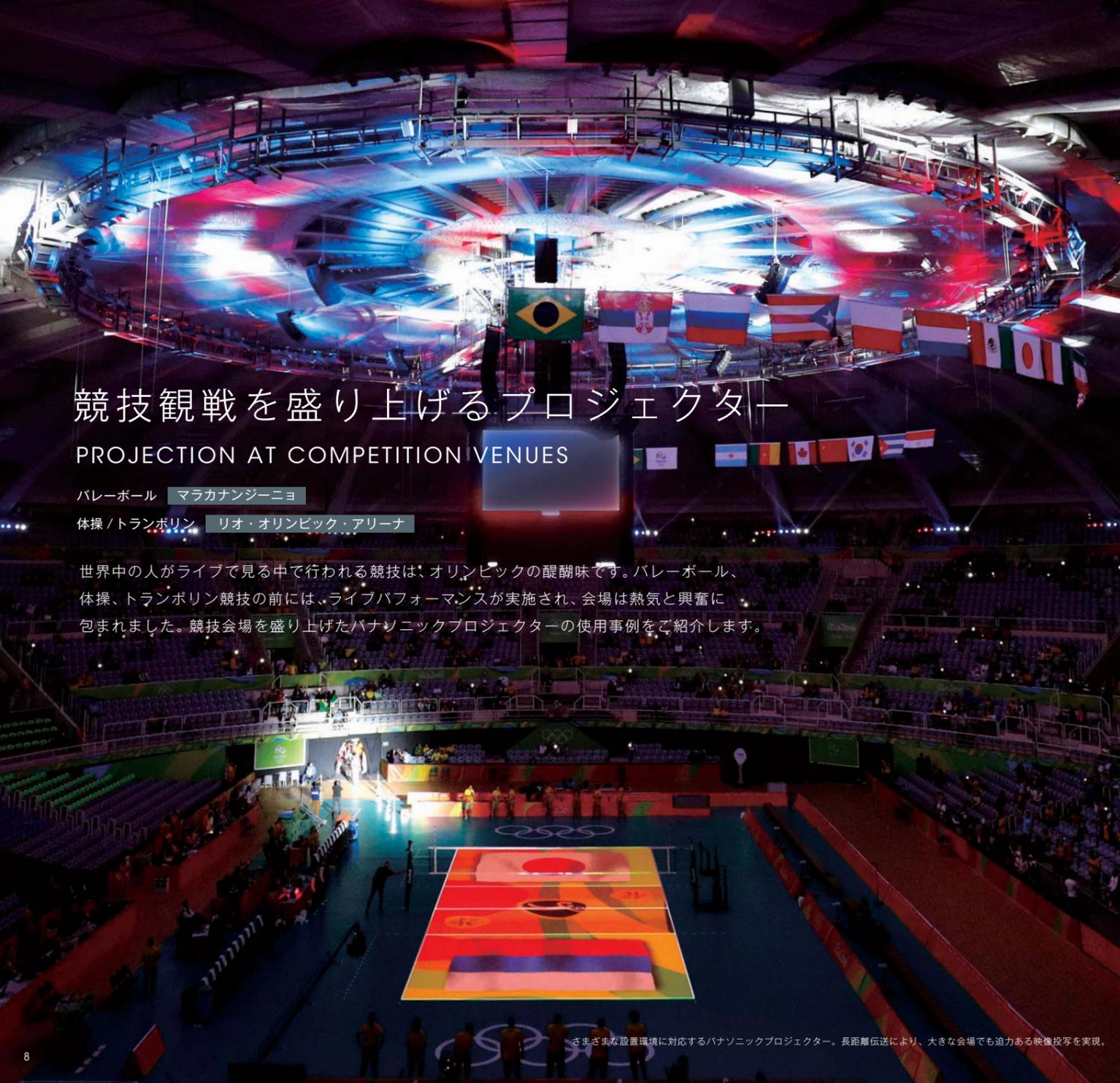
WHAT MAKES US UNIQUE:
PROJECTION OF HEARTBEATS

開会式では、最先端の技術を駆使した映像演出で人類の団結が表現されました。選手入場を最後に締めくくるのは、選手の写真をつないだパネルに色鮮やかに投写されたひとつの大きな心臓。フィナーレでは会場全体に心臓の鼓動が大きく響き、美しい花火が舞い上がりました。

BEYOND VISION: LIGHT AND SOUND

高精度に調整されたパナソニックプロジェクターが、線遠近法をモチーフにした幻想的なシーンを途切れることなく投写。LEDライトと音響が一体となりパフォーマンスの動きを見事に演出しました。





競技観戦を盛り上げるプロジェクター

PROJECTION AT COMPETITION VENUES

バレーボール マラカナンジーニョ
 体操/トランポリン リオ・オリンピック・アリーナ

世界中の人がライブで見られる競技は、オリンピックの醍醐味です。バレーボール、体操、トランポリン競技の前には、ライブパフォーマンスが実施され、会場は熱気と興奮に包まれました。競技会場を盛り上げたパナソニックプロジェクターの使用事例をご紹介します。

さまざまな設置環境に対応するパナソニックプロジェクター。長距離伝送により、大きな会場でも迫力ある映像投写を実現。



期待感を高めるフロアへの映像投写（バレーボール）

バレーボール会場では2台のPT-DZ21K2をスタックして使用。真下に向けた合計4台のプロジェクターが映像をフロアに投写。パワフルなマルチスクリーンのマッピング機能を駆使して、オープニングアクトや選手入場を盛り上げました。信頼性を誇る4灯式光学システムにより、輝度20,000lmの鮮やかな映像が床面に生き生きと描かれました。



PT-DZ21K2をデュアルスタック設置。20,000lmの高輝度でバレーボールコートを照らしました。



オプションのフレームを2台使用することでデュアルスタック設置が可能に。



パフォーマンスをより鮮やかに。(体操/トランポリン)

その美しさと優雅さで観客の人気を集めた体操のオープニングアクト。パナソニックのプロジェクションマッピングでは、デュアルスタック設置された4灯式光学システム採用のPT-DZ21K2プロジェクターを使用。高画質のWUXGA解像度の映像が床面に生き生きとした輝きを放ち、パフォーマンスの動きを華やかに演出しました。

幾何学補正・設置調整ソフトウェアにより、複数台のプロジェクターを使用したマッピングを実現。特殊形状のスクリーンに対応した多彩な映像演出が展開されました。



PT-DZ21K2 3チップDLP®方式プロジェクター
 使用機種

熱戦を鮮明に映し出すディスプレイ

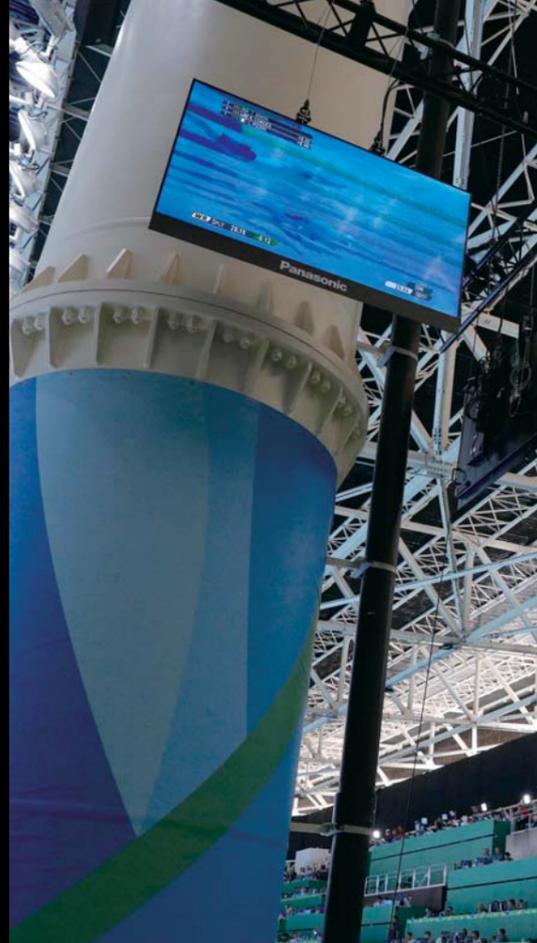
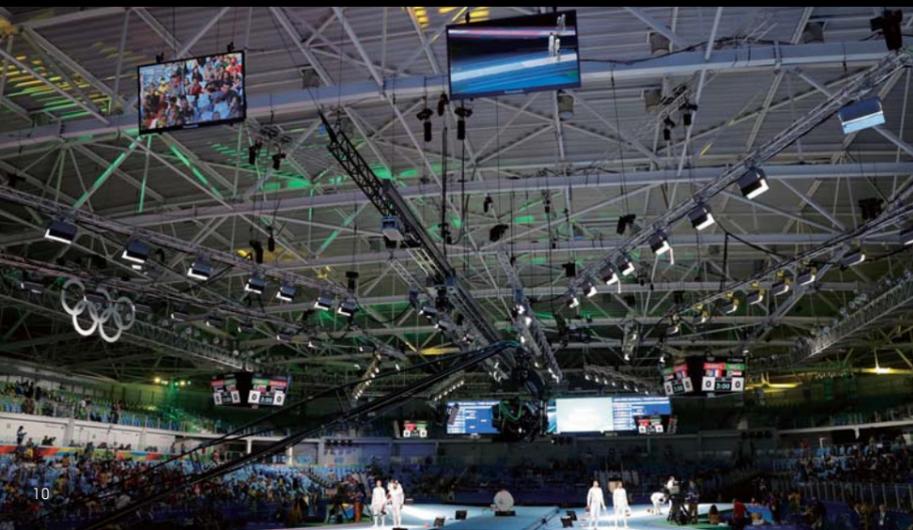
PRO DISPLAYS AT COMPETITION VENUES

水泳 **オリンピックアクアティクススタジアム**

フェンシング/テコンドー **カリオカアリーナ**

すべての観客が最前列の席を手に入れられるわけではありません。しかし、パナソニックの業務用ディスプレイのおかげで、どの客席からも競技中に選手を近くに感じることができました。広視野角に対応した最新の4K UHD大型液晶ディスプレイを水泳、テコンドー、フェンシングの会場に効果的に設置。試合のライブ映像やクローズアップ・リプレイ映像に加え、取得ポイントなどの情報を表示しました。

厳しい環境の中でも稼働する信頼のパナソニック製品。各競技会場でさまざまな用途に使用されました。



98インチの4K大型パネルはシングルディスプレイでの大画面表示に最適。【TH-98LQ70】



遠くの席でも迫力のある試合が観戦可能に。【TH-65LFE8】



試合のライブ映像を、すべての観客のために。(水泳)

水泳会場では、2台の4KディスプレイTH-98LQ70がプールサイドに設置され、高精細なライブ映像が大画面に映し出されました。また、柱やLED大型映像表示装置の裏側などには8台のTH-65LFE8を設置。熱戦の映像や試合結果などを、すべての観客に余すことなく届けました。

4K映像で、熱戦の迫力をありのままに。(フェンシング/テコンドー)

フェンシングとテコンドーの競技会場では、2台1組の4K UHD液晶ディスプレイTH-98LQ70を2箇所に設置。大画面に高精度な4K映像が映し出されました。8台のフルハイビジョン液晶ディスプレイTH-65LFE8も加わって、観客はどの客席からも選手の動きを瞬たりとも見逃すことなく、熱戦を楽しむことができました。



IPS液晶パネル技術によりどの角度からでも高精細な映像が楽しめます。【TH-98LQ70】



TH-98LQ70 4K UHD液晶ディスプレイ
TH-65LFE8 フルハイビジョン液晶ディスプレイ

使用機種

大会運営を支えるサポート施設

SUPPORT FACILITIES [BEHIND THE SCENES]

リオ2016でパナソニックはプロジェクターやディスプレイの機器提供だけでなく、大会関連施設で使われる映像機器や設備のメンテナンスにも対応しました。コミュニケーション・IT・放送関係者や監視モニター室の技術スタッフが安心できる基盤を築くことで、効率的な大会運営を可能にしました。



オペレーション施設

■ テクノロジーオペレーションセンター TECHNOLOGY OPERATIONS CENTRE (TOC)

監視モニター室でも活躍するパナソニックの映像機器

パナソニックはテクノロジーオペレーションセンターにPT-RZ370 SOLID SHINE レーザープロジェクターを設置してITシステムの技術サポートを行いました。このレーザープロジェクターは、ランプ切れの心配もなく、映像の中断が許されない監視モニター室などで活躍。明るく高精細なDLP®方式の映像投写も実現し、24時間連続運用で優れたシステム性を発揮しました。LANケーブル1本でシンプルな信号伝送を実現するデジタルリンク対応のデジタルインターフェイスボックスET-YFB100GとデジタルリンクスイッチャーET-YFB200Gを活用し、映像信号を複数のディスプレイ機器に長距離伝送。予兆監視ソフトウェアET-SWA100と組み合わせることで、PT-RZ370を用いた24時間体制の監視が実現しました。



天井に設置されたPT-RZ370 SOLID SHINE レーザープロジェクター。



デジタルリンクスイッチャー/デジタルインターフェイスボックスを活用し、HDBaseT™準拠のプロジェクターにLANケーブル1本で高画質な映像を長距離伝送。オペレーションルームから離れたバックヤードからの映像伝送が容易に。



■ 国際放送センター INTERNATIONAL BROADCAST CENTRE (IBC)

美しいマルチスクリーン映像を、24時間いつでも。

オリンピックとパラリンピックでは、メディア関係者に向けて、国際放送センター内の2箇所に超狭額縁液晶ディスプレイTH-55LFV70を使ったマルチスクリーンディスプレイが設置されました。広視野角での写り込みを低減させるアンチグレア(AG)処理を施したIPSパネルにより、強い人工光の下でも視認性にすぐれた映像表示を実現。24時間連続運転にも対応し、高い信頼を得ました。



TH-55LFV70は分割表示にも対応し柔軟な映像配信を実現。



パナソニックサービスセンター



パナソニックブラジルが運営するパナソニックサービスセンターは、主要競技施設に設置された映像システムを技術面でサポートし、メンテナンスを行いました。ET-SWA100ソフトウェアを使用した予兆監視システムは、8つの会場に設置された36台のパナソニックのプロジェクターやディスプレイを監視する際、重要な役割を果たしました。この予兆監視システムはネットワーク経由で機器の異常やトラブル発生の予兆を検知し通知。問題が起こる前にいち早く現場対応が可能となりました。大会で使用されたパナソニック製品のほぼすべてが、ホコリが多く気温が高い環境でも問題なく連続稼働し、その信頼性が証明されました。

メインプレスセンターと選手村への映像機器提供

■ メインプレスセンター MAIN PRESS CENTRE (MPC)

熱戦のリアルな映像を世界へ。

放送関係者に向けたメインプレスセンターでは、9台のTH-55LFV70を用いてマルチスクリーンを構築。視野角による輝度変化や色変化を抑える高解像度のIPS液晶パネル技術により、どの角度からでも高精度な映像が提供されました。記者会見を行う会場では、超短焦点レンズET-D75LE90を装着した輝度12,000lmのPT-DZ13Kプロジェクターが、人影の写り込みのないクリアな映像を届けました。



超短焦点レンズET-D75LE90を装着したPT-DZ13Kにより人影の写り込みのない映像投写が可能に。



ビデオウォールの設置を簡単にする自動ディスプレイ調整アップグレードキットTV-VUK10。市販のカメラと連携し、複数ディスプレイのセットアップ調整を行います。

■ 選手村 OLYMPIC AND PARALYMPIC VILLAGE

コーチと選手の良好なコミュニケーションは、選手の記録やパフォーマンス向上の鍵となります。ここでもパナソニック製品は、さまざまな活躍を見せました。超短焦点レンズET-D75LE90を装着した2台のPT-DZ13Kプロジェクターは、コーチングルームでのミーティングなどで活用されました。レクチャーやプレゼンテーションでは、さまざまな写真や映像をリアスクリーンに投写するため、3チップDLP®方式プロジェクターに対応した世界最軽*の超短焦点レンズET-D75LE90が使用されました。

*2014年11月時点。3チップDLP®方式プロジェクターにおいて。



パナソニックの企業パビリオン PANASONIC SHOWCASE IN SUGARLOAF



スタジアム・オブ・ワンダーズ

オリンピックの会期中、リオデジャネイロ市内にある世界遺産「シュガーローフマウンテン」にパナソニックの企業パビリオン「Stadium of Wonders」が開設されました。「歴史トンネル」では、照明と映像投影の機能を組み合わせたスペースプレーヤーを使用し、長年にわたり大会をサポートしてきた歴史を映像で紹介。DLP®技術を搭載したスペースプレーヤーは他のコーナーでも活躍し、来場者はスクリーンに登場するリオ2016のマスコットキャラクターと一緒に記念撮影を楽しみました。4Kシアターでは最先端のPT-RQ13K SOLID SHINE レーザープロジェクターが高精度の4K+映像を大画面に映し出し、観客を魅了。オリンピック競技のアイコン展示エリアでは、PT-RZ670プロジェクターが透明スクリーンに美しい映像を映し出しました。



「シュガーローフマウンテン」からの絶景に匹敵する美しい映像を4K+プロジェクターPT-RQ13Kが再現。



歴史トンネルで照明と映像の融合により空間を演出したスペースプレーヤー。

リオ2016で使用された映像機器 INSTALLED EQUIPMENT AT RIO 2016

3チップDLP®方式プロジェクター



スペースプレーヤー



1チップDLP®方式プロジェクター



LCDプロジェクター



4K UHD 液晶ディスプレイ



フルハイビジョン液晶ディスプレイ



デジタルリンクスイッチャー



デジタルインターフェイスボックス



関連オプション

■ 大規模イベントでの映像機器設置に欠かせない予兆監視ソフトウェア ET-SWA100



パナソニックの予兆監視ソフトウェアは、イントラネットに接続されているプロジェクターやディスプレイの状態を監視し、機器の異常やトラブル発生の予兆を検知し通知します。本ソフトウェアがインストールされた監視サーバーをモバイルやPCのウェブブラウザからモニタリングすることも可能。ダウンタイムを最小化し、遠隔地からの監視により時間が節約できる予兆監視システムは、リオオリンピックとパラリンピックの大会運営で重要な役割を果たしました。

■ ビデオウォールマネージャー 自動ディスプレイ調整アップグレードキット TY-VUK10